

---

## 「AI を活用した病理診断支援技術の研究開発」に関するお知らせ

---

このたび、当院で生検あるいは手術を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

1990年1月1日～2023年3月31日までに埼玉医大総合医療センター病理部に提出された病理検体で、悪性リンパ腫としてすでに診断の確定した患者さんを対象としています。

#### 2. 研究の目的

病理診断は疾患の最終診断であり、治療方針の決定に不可欠です。しかし本邦では病理医が少ないことから、それを補うべくデジタル画像を用いた遠隔診断技術が普及してきています。すなわち、診断業務に顕微鏡を使用せず、バーチャルスライドを用いた画像データを用いてパソコン上で診断するものです。

さらに、悪性リンパ腫はその頻度の低さと疾患の多さから、病理診断が難しい領域とされています。このような背景において、Ridgelinez 株式会社が開発を進めている人工知能(AI)による病理診断の補助ツールを使用して、悪性リンパ腫の病理診断ツールを研究開発し、病理医の診断効率および診断精度向上の実現を目指します。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2023年12月7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

埼玉医大総合医療センター病理部に手術検体あるいは生検検体として提出された病理検体で、悪性リンパ腫として診断が確定された症例の顕微鏡写真を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医大総合医療センター病理部において、研究責任者である百瀬修二が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患

者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

悪性リンパ腫と診断された患者さんの病理検体から作成された組織標本の顕微鏡写真を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 病理部

研究代表者 : 病理部 医師 教授 百瀬修二

研究実施者 : 病理部 医師 教授 東 守洋

: 病理部 医師 助教 村上千明

共同研究機関名 : Ridgelinez 株式会社

共同研究責任者 : Ridgelinez 株式会社 Business Science Unit Principal 野村昌弘

共同研究実施者 : Ridgelinez 株式会社 Business Science Unit Manager 河野洋行

: Ridgelinez 株式会社 Business Science Unit Consultant 浅葉 海

共同実施者 : 住友化学株式会社 経営企画部 佐々木克典

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医大総合医療センター 病院長 別宮 好文

## 5. 試料・情報の提供方法等について

共同機関である Ridgelinez 株式会社へは、新たに付与された研究用識別コード、病理診断名、画像のみを送付します。送付方法は研究実施者による手渡しもしくは郵送で送られます。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

本研究にかかる資金は Ridgelinez 株式会社からの研究経費により行います。

〒350-3550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター 病理部

教授 百瀬修二

TEL/FAX 049-228-3522 (平日 9時～17時)

○研究課題名：AI を活用した病理診断支援技術の研究開発

○研究代表者：埼玉医大総合医療センター病理部 百瀬修二